

ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ: <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーコール

0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後5:30)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用
はできませんのでご了承ください。



1 600 A02 NT9

1 600 A02 NT9 (2022.09)

GPB 18V-5 C



取扱説明書

このたびは、弊社ラジオをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。



- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

目次

●安全規則.....	2
警告表示の区分	2
一般的な電動機械の安全性に関する警告.....	2
記号について	7
●安全上のご注意.....	8
コード式電動機械全般についての注意事項	8
コードレス電動機械全般についての注意事項	13
ラジオについての注意事項	20
●本製品について.....	22
用途.....	22
標準付属品.....	22
各部の名称.....	23
仕様.....	26
●使い方.....	28
主電源を使用する	28
バッテリーを使用する	29
バックアップ用の電池を使用する	32
使用する	34
●バッテリーを長持ちさせるために.....	45
●リサイクルのために	45
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください	45
●お手入れと保管.....	46
クリーニング	46
保管.....	46
電動機械(本体)の廃棄について	46
●困ったときは.....	47
故障かな?と思ったら.....	47
修理を依頼するときは.....	48

安
全

つ本
製
品
に
て

使
い
方

つバ
ッテ
リ
ー
に
て

保
お
手
入
れ
と
管

困
っ
た
と
き
は

安全規則

安
全

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は 、、 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

- 危険** ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。
- 警告** ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
- 注意** ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

一般的な電動機械の安全性に関する警告

警告

電動機械とともに提供される全ての安全上の警告、指示、図解および仕様をお読みください。

次に示す全ての指示に従わない場合には、感電、火災および重傷を負う恐れがあります。

必要に応じて読むことができるように、全ての警告および指示を後日のために保管してください。

次に示す全ての警告における“電動機械”という用語は、電源式(コード付き)電動機械または、電池式(コードレス)電動機械を示す。

a) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－作業場

- 1) 作業場は整理整頓し、十分に明るくしてください。散らかった暗い場所で作業すると事故の原因となります。
- 2) 爆発を誘引することがある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動機械を使用しないでください。電動機械から発生する火花は、粉じんまたは蒸気(ヒューム)を発火させることがあります。
- 3) 電動機械の使用中は、子供および第三者を近付けないでください。注意が散漫になって、操作に集中できなくなることがあります。

安
全

b) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－電気的安全性

- 1) 電動機械の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。また、電源プラグを改造しないでください。アダプタープラグを接地した電動機械と一緒に使用しないでください。改造していない電源プラグおよびそれに対応する電源コンセントを使用することで、感電のリスクは低減されません。
- 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの接地されたものと、身体を接触させないでください。
身体が接地されたものと接触した場合、感電する恐れがあります。
- 3) 電動機械を雨または湿気のある状態にさらさないでください。電動機械に水が入ると、感電する恐れがあります。
- 4) コードを乱暴に扱わないでください。コードを引っ張って電動機械を引き寄せたり、または電源プラグを抜くためにコードを引っ張らないでください。コードを熱、油、鋭利な角または動いているものに接触させないでください。コードが損傷したり絡まったりすると、感電する恐れがあります。
- 5) 電動機械を戸外で用いる場合は、戸外の使用に適した延長コードを使用してください。戸外の使用に適したコードを使用することで、感電のリスクは低減されます。
- 6) 電動機械を湿った場所で用いることが避けられない場合、漏電遮断器(RCD)によって保護された電源を使用してください。漏電遮断器(RCD)を使用することで、感電のリスクは低減されます。

c) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－人的安全性

- 1) 電動機械の使用中は、油断をせず、現在、自分が何をしているかに注意してください。電動機械の使用中は、自らの動作に対する作業安全を常に考慮してください。疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動機械を使用しないでください。電動機械の使用中的一瞬の不注意で、深刻な人的傷害を引き起こす恐れがあります。
- 2) 安全保護具を使用してください。常に、保護めがねを装着してください。防じんマスク、滑り防止安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に用いることで、傷害事故を低減することができます。

安

全

- 3) 意図しない始動を避けるため、スイッチに指をかけて電動機械を運ばないでください。電源プラグを差し込む前に、スイッチが“切”の位置にあることを確認してください。スイッチに指をかけて電動機械を運んだり、スイッチが“入”の位置になった電動機械の電源プラグを差し込むと、意図せず始動し事故の原因となる恐れがあります。
- 4) 電動機械の電源を入れる前に、調整キーまたはレンチを外してください。電動機械の回転部分に調整キーまたはレンチを付けたままにしておくと、人的傷害を引き起こす恐れがあります。
- 5) 無理な姿勢で作業しないでください。常に適切な足場およびバランスを維持してください。これによって、予期しない状況でも電動機械を適切に操作することができます。
- 6) だぶだぶの(余裕のある)衣服または装飾品は身に付けず、きちんとした服装で作業してください。髪、服および手袋を回転部分に近付けないでください。だぶだぶ(余裕のある)の衣類、装飾品または長髪で作業をすると、回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用してください。これらの装置を使用することによって、粉じん関連の危険を低減することができます。
- 8) 電動機械を使い慣れていても、安全性に注意して作業してください。不注意な行動は、重大な傷害を引き起こす恐れがあります。

d-1) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－コード式電動機械の使用および手入れ

- 1) 電動工具に過剰な負荷を加えて使用しないでください。用途に合った正しい電動機械を使用してください。適切に電動機械を使用することによって、より効率よく、安全に作業することができます。
- 2) スイッチで始動および停止ができなくなった電動機械は、使用せず修理してください。スイッチで制御ができない電動機械を使用すると事故の原因となる恐れがあります。
- 3) 調整を行ったり、付属品を交換したり、または電動機械を保管したりする前に、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。バッテリーを使用するものは、電動機械からバッテリーを取り外してください。そうすることによって、電動機械を誤って始動させるリスクを軽減することができます。
- 4) 使用しない電動機械は、子供の手の届かないところに保管し、電動機械またはその指示に不慣れな人には電動機械を使用させないでください。電動機械を扱い慣れていない人が使用すると事故の恐れがあります。
- 5) 電動機械および付属品を適切に保守してください。電動機械の動作に影響する恐れのある可動部分の芯ずれまたは結合、部品の破損およびその他の状態を点検し、異常がある場合は、使用する前に電動機械の修理を行ってください。電動機械の保守が十分でないことが、多くの事故の原因となっています。
- 6) 先端工具は、鋭利、かつ、清潔に保ってください。先端工具を適切に手入れして鋭利に保つことで、作業の円滑さを失うことなく、操作も容易になります。

- 7) 電動機械、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件および実施する作業を考慮して、取扱説明書に従って、特定の電動機械に合うように使用してください。意図された作業と異なる作業に電動機械を用いる場合、危険な状況になる恐れがあります。
- 8) ハンドルおよび保持面に、オイルまたはグリースを付着させず、きれいな状態で乾燥させておいてください。ハンドルまたは保持面が滑ると、電動機械の安全な取り扱いまたは制御を妨げる恐れがあります。

安

全

d-2) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－コードレス電動機械の使用および手入れ

- 1) 弊社が指定する充電器およびバッテリーの組み合わせ以外では充電しないでください。
指定する充電器およびバッテリーの組み合わせ以外で充電すると、火災を発生する恐れがあります。
- 2) 電動機械は、指定するバッテリー以外は、使用しないでください。指定していないバッテリーを使用すると、人的被害および火災のリスクを生じる恐れがあります。
- 3) バッテリーを使用しないときは、クリップ、硬貨、鍵、釘、ネジなどの金属物、または端子間を短絡する恐れがあるその他の小さな金属物と分けて保管してください。バッテリー端子の短絡によって、やけどまたは火災を生じる恐れがあります。
- 4) 過度な条件の下では、バッテリーから液体が漏えいすることがあります。バッテリーから漏えいした液体への接触は避けてください。漏えいした液体に接触した場合は、水で洗い流してください。液体が目に入った場合は、医師にご相談ください。バッテリーから漏えいした液体は、炎症またはやけどの原因となる恐れがあります。
- 5) 破損または改造したバッテリーや電動機械を使用しないでください。使用すると、火災や爆発、若しくはけが、予期しない動作を生じる恐れがあります。
- 6) 火または高温にバッテリーや電動機械をさらさないでください。火または130℃以上の温度にさらすと爆発する恐れがあります。
- 7) 取扱説明書の指示に従って充電してください。取扱説明書で指定する温度範囲外では、バッテリーまたは電動機械を充電しないでください。不適切または指定範囲外の温度で充電すると、バッテリーが損傷し、火災の危険が増大します。

e-1) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－コード式電動機械の修理

電動機械は、資格を有する修理要員に純正交換部品だけを用いて修理するよう依頼してください。
これによって、電動機械の安全性を維持することができます。

e-2) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－コードレス電動機械の修理

安

全

- 1) 電動機械の修理は、資格を有する修理要員に純正交換部品だけを用いて修理するよう依頼してください。これによって、電動機械の安全性が維持できません。
- 2) 損傷したバッテリーは、修理しないでください。損傷したバッテリーの修理は、弊社または認定整備業者に依頼してください。

記号について

本機には下記の記号が表示されています。
記号の意味を十分理解して本機を使用してください。

安
全

	直流
	交流
	クラスII電動機械
	電源入力端子の極性表示
	韓国の国家統合認証表示
	電波法の基準適合表示
	電気用品安全法における特定以外の電気用品の基準適合表示
	屋内のみで使用してください
	けがのリスクを軽減するために取扱説明書をお読みください
	ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください
	ビニール袋は窒息の危険があります この袋は赤ちゃんや子どもから遠ざけてください
 Li-ion XX	リサイクル識別表示マーク(リチウムイオンバッテリー)
	リサイクル識別表示マーク(紙製容器包装)
	リサイクル識別表示マーク(プラスチック製容器包装)

安全上のご注意

安
全

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

コード式電動機械全般についての注意事項

ここでは、コード式電動機械全般の『安全上のご注意』について説明します。

警 告

- **感電に注意してください。**
 - ◆ めれた手で電源プラグに触れないでください。
- **加工するものをしっかりと固定してください。**
 - ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動機械を使用できます。
- **異常や故障時には、直ちに使用を中止し、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いてお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに、点検、修理を依頼してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。**

<異常・故障例>

 - ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - ・電源コードに深いキズや変形がある。
 - ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - ・焦げくさい臭いがする。
 - ・ビリビリと電気を感ずる。
 - ・スイッチを入れても動かない。 など

● **必ず、銘板に表示してある電圧の電源で使用してください。**

◆ 表示以外の電圧で使用すると、事故の原因になります。

● **やむを得ず、湿気の多い場所で使用する場合は、漏電遮断器(RCD)を設置して給電してください。**

◆ 漏電遮断器の設置で、感電する危険が低減されます。

● **つなぎコードは、アース中断線を備えた3芯コードを使用してください。(二重絶縁品、低電圧品は除く)**

● **必ずアース(接地)してください。(二重絶縁品、低電圧品は除く)**

● **アース線をガス管に接続しないでください。(二重絶縁品、低電圧品は除く)**

● **作業中は電源コードが損傷したりもつれたりしないよう注意し、常に本体の後方に離してご使用ください。**

◆ コードが損傷したりもつれたりすると、感電や故障の原因になります。

● **作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。**

◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。
電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。
ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。
水配管の貫通は、器物破損の原因になります。

● **屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。**

● **長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。**

● **騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。騒音にさらされると、難聴の原因となります**

安

全

安

全

- 電動機械の電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが“切”になっていることを確認してください。スイッチが“入”になっている状態で電源プラグを差し込むと、事故の原因になります。
- 先端工具が埋設された配線などに接触する恐れがある場合、電動機械本体の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。
 - ◆ 絶縁部分を持っていないと、先端工具が通電している配線に接触して、電動機械本体の金属部に通電した場合、作業者が感電する恐れがあります。絶縁部分で保持していると、感電する危険が小さくなります。
- 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、電動機械本体や先端工具、付属品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。
- 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鉱物や金属への作業から出るホコリやクズなどによっては、健康に悪影響を与えたり、アレルギー反応を引き起こしたりするものがあり、呼吸器の感染症やガンなどの原因となる可能性があります。
 - ◆ アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。
 - できる限り、材料に合った集じん装置を使用してください。
 - 作業場所の換気に注意してください。
 - DS2クラス以上のフィルター付防じんマスクの着用をお勧めします。作業を行う材料に関して、自国の関連規則を遵守してください。
- 作業場で粉じんの堆積は避けてください。
 - ◆ 容易に発火する恐れがあります。
- 定期的に電動機械の通気口を清掃してください。
 - ◆ 通気口にほこりなどが蓄積されると、故障や事故の原因になります。
- 電動機械を火のそばや、高温の場所に置かないでください。
 - ◆ 爆発の恐れがあります。
- 作業員以外、電動機械やコードに触れさせないでください。

● **電動機械の修理は、専門店で依頼してください。**

- ◆ サービスマン以外の方は電動機械を分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ 電動機械が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- ◆ 損傷したり、改造した電動機械を使用すると、予想外の動きをして、電動機械をコントロールできなくなります。
- ◆ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した電動機械の保守・点検・修理は受け付けできません。

安

全

● **この機器は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)が単独で使用しないでください。**


- ◆ この機器で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。

● **アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用しないでください。**

- ◆ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発生させる物質です。

● **安全上のご注意は、必ず守ってください。**

- ◆ 電動機械の取り扱いに慣れると、安全の注意事項厳守を怠りがちです。電動機械操作中に、一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。

 **注 意**

安

全

- 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ◆ 確実にしないと外れたりし、けがの原因になります。
- 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - ◆ 材料や電動機械本体などを落としたときなど、事故の原因になります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理については、お買い求めの販売店、またはポッシュ電動工具サービスセンターにお問い合わせください。

コードレス電動機械全般についての注意事項

ここでは、コードレス電動機械全般の『安全上のご注意』について説明します。

危険

安

全

- **ボッシュ専用の充電式バッテリー以外を使用しないでください。**
 - ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
 - ◆ 改造したバッテリー(分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む)を使用しないでください。
電動機械本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。

- **バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。**

- **バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。**
 - ◆ 内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。

- **バッテリーの端子部を金属などに接触させないでください。**
 - ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。

- **コードレス電動機械本体やバッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管・放置しないでください。**
 - ◆ 発熱・発火・破裂・バッテリーの液漏れの恐れがあります。

- **専用の充電器以外では、充電しないでください。**
 - ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。
バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。

- **バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。**
 - ◆ 短絡の恐れがあります。

- **バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。
また、バッテリー内部に水のような導電体を浸入させないでください。**
 - ◆ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

 **警 告**

安

全

● **正しく充電してください。**

- ◆ バッテリーは、取扱説明書の指示に従って充電してください。
- ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 仕様に記載されている推奨充電周囲温度範囲外で、バッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 不適切に充電したり、指定された範囲外の温度で充電すると、バッテリーが破損したり、火災が発生したりする恐れがあります。

● **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**

- ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。

● **感電に注意してください。**

- ◆ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

● **加工するものをしっかりと固定してください。**

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でコードレス電動機械を使用できます。

● **使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。**

● **ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。**

捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

● **充電式でないバッテリー（マンガン乾電池等）は、充電しないでください。**

安

全

- **作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。**
 - ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。
電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。
ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。
水配管の貫通は、器物破損の原因になります。
- **屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。**
- **長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。**
- **騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。騒音にさらされると、難聴の原因となります。**
- **先端工具は鋭利で清潔な状態を保ってください。先端工具を適切に手入れし、鋭利な状態を保っておけば、作業の円滑さを失うことなく、能率よく作業できます。**
- **電動機械にバッテリーを挿入する前に、スイッチが“切”になっていることを確認してください。スイッチが“入”になっている状態でバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。**
- **電動機械を、無理に使用しないでください。目的に合った電動機械を使用してください。より適切、安全に作業ができます。**
 - ◆ 安全に能率よく作業するために、電動機械の能力に合った速さで作業してください。
 - ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
 - ◆ 小型の電動機械やアタッチメントは、大型の電動機械で行う作業には使用しないでください。
 - ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

安

全

- 電動機械、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件および作業内容を考慮して、それらの取扱説明書に従って、使う電動機械に合うように使用してください。
電動機械を意図した作業と異なる作業に使用すると、危険な状況になることがあります。
 - ◆ 指定されたアクセサリ以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。
- スイッチで始動、および停止操作のできない電動機械は、使用しないでください。スイッチで制御できない電動機械は危険です。修理を依頼してください。
- 調整・付属品の交換・保管をするときは、必ず電動機械本体からバッテリーを取り外してください。
このような予防的 safety 手段により、不意の作動によるけがの発生が軽減されます。
- 先端工具が埋設された配線などに接触する恐れがある場合、電動機械本体の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。
 - ◆ 絶縁部分を持っていないと、先端工具が通電している配線に接触して、電動機械本体の金属部に通電した場合、作業者が感電する恐れがあります。絶縁部分で保持していると、感電する危険が小さくなります。
- 作業中にコードレス電動機械本体の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちにスイッチを切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
 - ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。
- 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、コードレス電動機械本体や先端工具、付属品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

安

全

- 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鋳物や金属への作業から出るホコリやクズなどによっては、健康に悪影響を与えたり、アレルギー反応を引き起こしたりするものがあり、呼吸器の感染症やガンなどの原因となる可能性があります。
 - ◆アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。
 - できる限り、材料に合った集じん装置を使用してください。
 - 作業場所の換気に注意してください。
 - DS2クラス以上のフィルター付防じんマスクの着用をお勧めします。作業を行う材料に関して、自国の関連規則を遵守してください。

- フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、コードレス電動機械本体が冷めるための時間を設けてください。
 - ◆複数個による連続作業は、コードレス電動機械本体に支障をきたすばかりでなく、コードレス電動機械本体の温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。

- 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者 の 診 断 を 受 け て ください。
 - ◆蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。

- 作業場で粉じんの堆積は避けてください。
 - ◆容易に発火する恐れがあります。

- 定期的にコードレス電動機械の通気口を清掃してください。
 - ◆通気口にほこりなどが蓄積されると、故障や事故の原因になります。

- 握り部は乾燥させ、油やグリースが付着していない状態を保ってください。
 - ◆握り部が滑りやすいと、コードレス電動機械本体を確実にコントロールすることができず、けがや事故の原因になります。

安

全

- 電動機械を使用しないときは、子供の手の届かない場所に保管してください。また、電動機械の取り扱いに不慣れな人や取扱説明書の内容を理解していない人には操作させないでください。電動機械を扱いなれていない人に渡すと、危険です。
 - ◆ この機械で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
 - ◆ 鍵のかかる所に保管してください。
- 電動機械の保守を行ってください。電動機械の動きに影響を及ぼす恐れのある可動部分の心ずれや結合、各 부품の損傷やその他の状態をチェックしてください。異常があった場合は使用せず、修理をご依頼ください。
多くの事故は、点検作業を怠ったことが原因となっています。
- コードレス電動機械の修理は、専門店に依頼してください。
 - ◆ サービスマン以外の方は電動機械、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
 - ◆ 電動機械が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
 - ◆ 損傷したり、改造した電動機械やバッテリーを使用すると、予想外の動きをして、電動機械をコントロールできなくなります。
 - ◆ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した電動機械の保守・点検・修理は受け付けできません。
- この機器は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)が単独で使用しないでください。
 - ◆ この機器で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
- アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用しないでください。
 - ◆ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発生させる物質です。

● **安全上のご注意は、必ず守ってください。**

- ◆ コードレス電動機械の取り扱いに慣れると、安全の注意事項厳守を怠りがちです。コードレス電動機械操作中に、一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。


● **搬送について**

内蔵のリチウムイオンバッテリーは危険物法令条件に該当しますが、お客様自身で陸送される場合はそれ以上の制約はありません。

第三者が運搬する場合(例えば空輸あるいは代理店経由)、特別な梱包とラベルの明記が必要です。出荷準備をされる際、有害物質取り扱いの専門家に相談してください。

安

全

 **注 意**

● **先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**

- ◆ 確実にないと外れたりし、けがの原因になります。

● **高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。**

- ◆ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。

● **電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。**

● **破損した保護カバー、その他の部品交換や修理については、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお問い合わせください。**

この取扱説明書は、大切に保管してください。

ラジオについての注意事項

電動機械全般の『安全上のご注意』について、前項では説明しました。

安
全
ここでは、ラジオをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項について説明します。

警告

- Bluetooth®送信機が内蔵されている場合、航空機内・病院内など、無線通信に制限がある場所では、それぞれの指示に従ってください。
他の機器との干渉が起こることがあります。
(Bluetooth®送信機が内蔵されていないモデルには該当しません。)
- Bluetooth®送信機が内蔵されている場合、近くの人や動物に対して影響を与える可能性があります。
(Bluetooth®送信機が内蔵されていないモデルには該当しません。)
- コイン形電池を誤って飲み込まないように注意してください。
 - ◆ コイン形電池を誤飲すると、2時間以内に胃酸で腐食が進み、死に至る危険があります。
(コイン形電池を使用しないモデルには該当しません。)
- コイン形電池を子供の手の届かないところに保管してください。
コイン形電池を飲み込んだり、コイン形電池が体内に入った疑いがある場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
(コイン形電池を使用しないモデルには該当しません。)
- コイン形電池は充電しないでください。また、コイン形電池を短絡させないでください。
 - ◆ 充電したり、短絡させると、液漏れ、爆発、発火する恐れがあります。
 - ◆ 電池から漏れた液は、炎症ややけどをもたらす恐れがあります。
(コイン形電池を使用しないモデルには該当しません。)

● **消耗したコイン形電池は取り外し、適切に廃棄・処理してください。**

残量がなくなったコイン形電池をそのままにしておくと、コイン形電池から液漏れする場合があります。

- ◆ 液漏れは、爆発や発火の恐れがあります。
- ◆ 液漏れは、故障の原因になります。
- ◆ コイン形電池から漏れた液は、炎症ややけどをもたらす恐れがあります。
(コイン形電池を使用しないモデルには該当しません。)

安

全

● **コイン形電池を火中に投入したり、加熱したりしないでください。**

- ◆ コイン形電池が液漏れ、破裂、発火したりして、けがや事故の原因になります。
(コイン形電池を使用しないモデルには該当しません。)

● **コイン形電池を傷つけたり、分解したりしないでください。**

- ◆ コイン形電池が液漏れ、破裂、発火したりして、けがや事故の原因になります。
(コイン形電池を使用しないモデルには該当しません。)

● **損傷したコイン形電池が水に触れないようにしてください。**

- ◆ コイン形電池からリチウムが漏れ出した場合、水と反応して水素を発生させ、火災、爆発、人身事故の原因になります。
(コイン形電池を使用しないモデルには該当しません。)

● **USB端子間を短絡させないでください。**

- ◆ 針金などがUSB端子内に入ると、短絡して発煙、発火、破損の恐れがあります。

● **雨中や水のかかるところで使用しないでください。**

- ◆ ラジオ本体に水が入ると、感電する恐れがあります。

本製品について

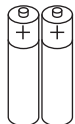

用途

- ◆ FMラジオ・AMラジオを聞く
- ◆ Bluetooth®に対応したモバイル端末の音楽を再生する
- ◆ スピーカーとして使用する
- ◆ 外部機器に電源供給する

本製品について

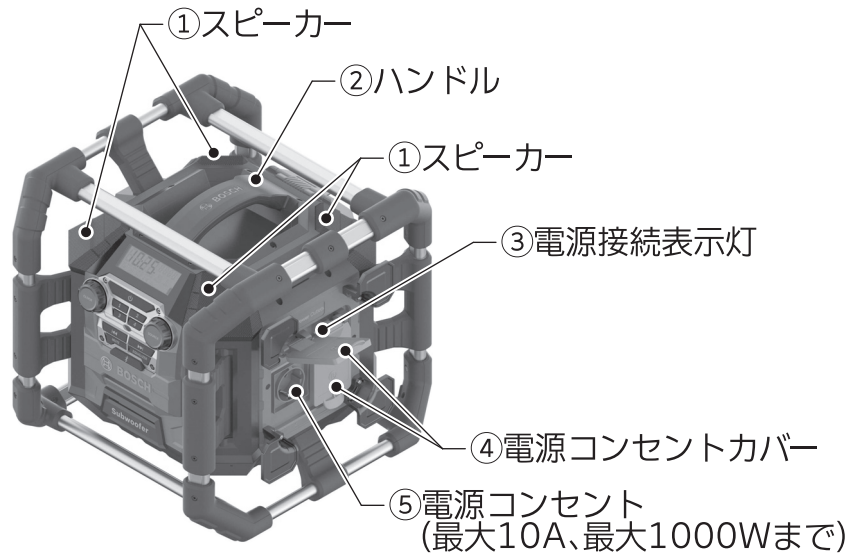
Bluetooth®のマークとロゴは、Bluetooth SIG Inc.の登録商標であり、Robert Bosch Power Tools GmbHは商標使用の許諾を得てこれらを使用しています。

標準付属品

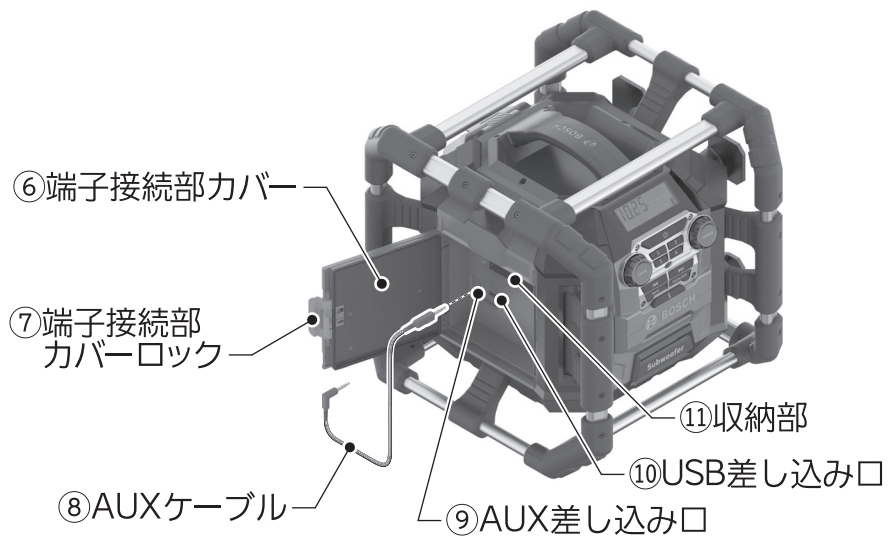
モデル名	GPB 18V-5 C
型番	GPB 18V-5 C
 単3アルカリ乾電池 1.5V LR6(AA)	2本
 AUXケーブル	1本

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

各部の名称

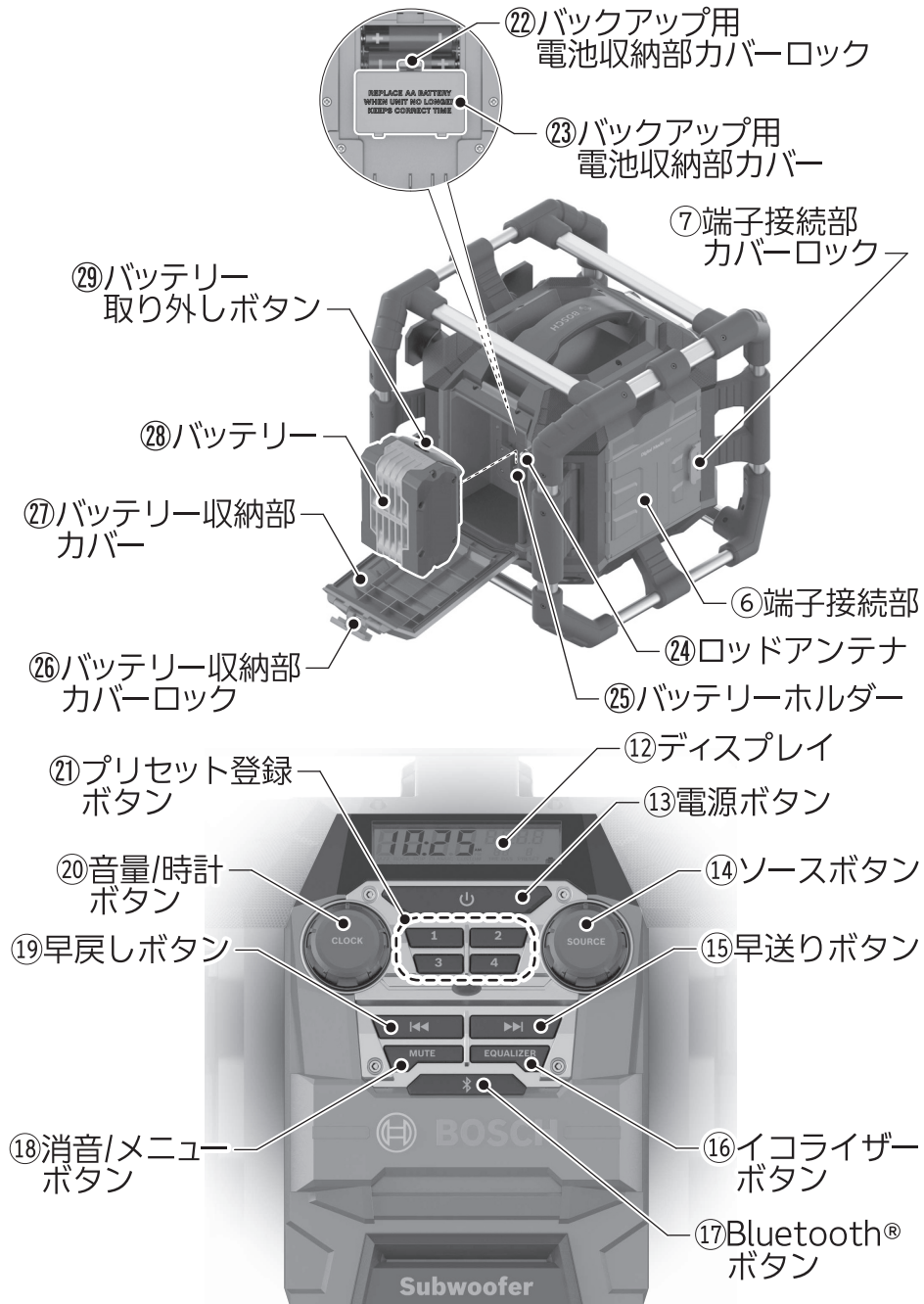


つ本
製
い
品
に
て

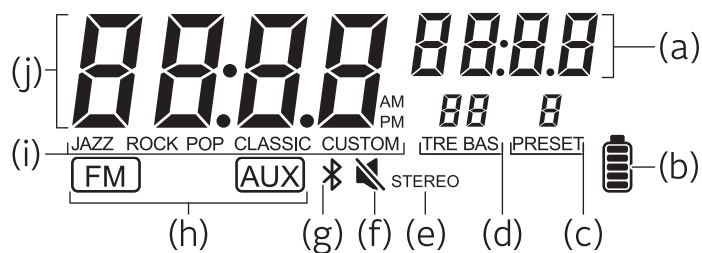


◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

つ本
い製
て品
に



ディスプレイ



- (a) 周波数表示
- (b) バッテリー残量表示
- (c) 登録番号表示
- (d) 高音/低音表示
- (e) ステレオ表示
- (f) 消音表示
- (g) *Bluetooth*[®] 接続表示
- (h) オーディオソース表示
- (i) イコライザー表示
- (j) 時刻表示

つ本
しい
製品
てに

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕様

本体

つ本
い製
品に

モデル名	GPB 18V-5 C	
型番	GPB 18V-5 C	
定格電圧 主電源 バッテリー	A.C.100V、50-60Hz D.C.18V	
Bluetooth®	バージョン	Bluetooth®5.0
	受信範囲	2402~2480MHz
	最大送信出力	10mW
	認証番号*1*2	  007-AJ0157   007-AL0055
バックアップ用電池	単3アルカリ乾電池 1.5V LR6(AA) 2本	
受信範囲 FM AM	76~108MHz 522~1710kHz	
質量(本体のみ)*3*4	9.2~10.2kg	
推奨充電周囲温度範囲	0℃~+35℃	
推奨使用可能周囲温度範囲*5	0℃~+35℃	
保管可能周囲温度範囲	-20℃~+50℃	
アンプの定格出力(電源プラグ使用時)	4×5W	
原産国	中国	

*1 この製品は、日本の電波法に準拠して認定されています。
本製品を改造したりすると、この認証番号は無効になります。

*2 どちらかの番号が対象になります。

*3 使用するバッテリーの容量により異なります。

*4 EPTAプロシージャー01/2014に準拠

*5 0℃以下の環境では、設計上の十分な能力を発揮できないことがあります。


使用可能ボッシュ充電器

品番	AL 18...*6 GAL 18... GAL 3680CV
----	---------------------------------------

使用可能ボッシュプロ用リチウムイオンバッテリー

品番	A 18...*6 GBA 18V... ProCORE 18V...
----	---

*6 プロフェッショナル18Vシリーズに限る

 本製品には、バッテリー・充電器は付属されておりません。別途お買い求めください。
使用可能なバッテリー・充電器の品番は、『ボッシュ電動工具 プロ用製品カタログ』を参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています。)

本
製
品
に
つ
い
て

使い方

主電源を使用する



警告

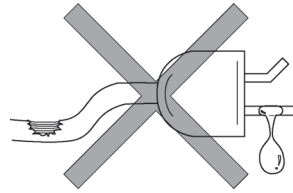
- ◆ 必ず銘板に表示してある電圧の電源で使用してください。
- ◆ 電源コードや電源プラグが損傷しているときは、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店またはポッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 電源コードや延長コードは、完全に伸ばして使用してください。



使
い
方

● 使用電源を点検する

- 単相A.C.100V、50-60Hzか？
- 電源コンセント不良(ガタ)のため、電源プラグが簡単に抜けないか？
- 電源コードが断線していたり、電源プラグが破損していないか？



● 電源コードを接続する

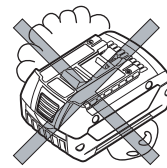
電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

バッテリーを使用する

☞ 本製品には、バッテリー・充電器は付属されておりません。別途お買い求めください。使用可能なバッテリー・充電器の品番は、『ボッシュ電動工具 プロ用製品カタログ』を参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています。)

● バッテリーを点検する

- バッテリーは弊社指定のものか?
- バッテリーから液漏れが発生していないか?
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか?
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか?



使
い
方

● バッテリーを充電する

充電については、充電器に付属されている取扱説明書をお読みになり、正しく充電してください。

● バッテリー残量表示

バッテリー⑳の残量(目安)を、ディスプレイ㉑のバッテリー残量表示(b)とバッテリー㉒のバッテリー残量表示ランプで確認することができます。

ディスプレイ㉑での残量表示

バッテリー㉒が取り付けられているとき、主電源が接続されていない状態で電源を入れると、ディスプレイ㉑のバッテリー残量表示(b)が点灯します。

バッテリー残量表示	残 量
	約80~100%
	約60~80%
	約40~60%
	約20~40%
	約5~20%
	約0~5%

バッテリーでの残量表示

「バッテリー残量表示ボタン」を押すと、バッテリー残量表示ランプが点灯します。

- ☞ バッテリーでの残量確認は、ラジオ本体からバッテリー⑳を取り外さないと確認できません。
- ☞ 「バッテリー残量表示ボタン」を押しても、バッテリー残量表示ランプが1つも点灯・点滅しないときは、バッテリー⑳が損傷しています。バッテリー⑳を交換してください。

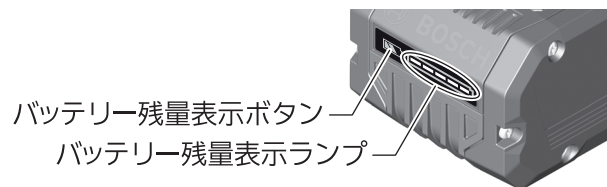
GBA 18V...

使
い
方



バッテリー残量表示ランプ	バッテリー残量
緑色3つ点灯	60～100%
緑色2つ点灯	30～60%
緑色1つ点灯	5～30%
緑色1つ点滅	0～5%

ProCORE 18V...



バッテリー残量表示ランプ	バッテリー残量
緑色5つ点灯	80～100%
緑色4つ点灯	60～80%
緑色3つ点灯	40～60%
緑色2つ点灯	20～40%
緑色1つ点灯	5～20%
緑色1つ点滅	0～5%


● バッテリーを取り付ける・取り外す

電子セル保護システム(ECP機能)について


本機には、電子セル保護システム(ECP機能)がついております。

バッテリー⑳が過放電または使用可能温度外になった場合などに、バッテリー保護のためにラジオの電源が自動的に切れます。

上記の状態が解消されると、再始動することができます。


ラジオの電源が自動的に“切”になっている状態で「 電源ボタン⑬」を押し続けると、故障の原因になります。

取り付け

1. バッテリー収納部カバーロック⑳を外して、バッテリー収納部カバー㉑を開けます。
2. バッテリー㉒のツメを、バッテリーホルダー㉓の溝に、“カチツ”と音がするまで押し込みます。
 確実に取り付けられていることを確認してください。

3. バッテリー収納部カバー㉑を閉じ、バッテリー収納部カバーロック⑳でロックします。

取り外し

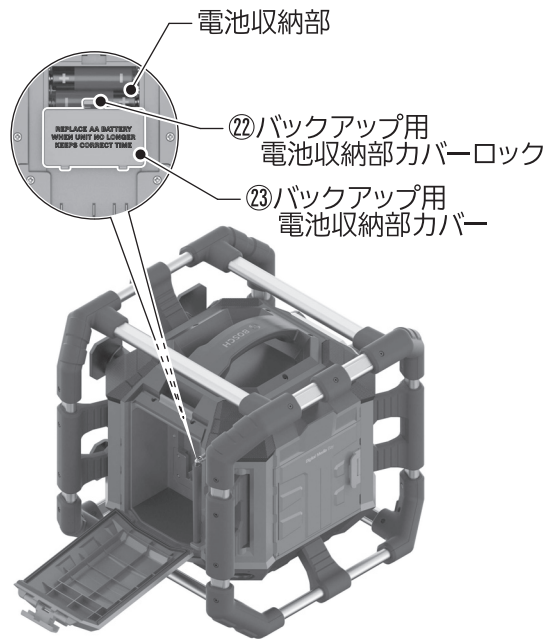
1. バッテリー収納部カバーロック⑳を外して、バッテリー収納部カバー㉑を開けます。
2. 「バッテリー取り外しボタン㉔」を押しながら、バッテリー㉒を引き上げて取り外します。
 バッテリー㉒は、無理に取り外さないでください。
3. バッテリー収納部カバー㉑を閉じ、バッテリー収納部カバーロック⑳でロックします。

使
い
方

バックアップ用の電池を使用する

バックアップ用の電池を入れておくと、時刻や周波数の登録が保持されます。

使
い
方



● 電池を取り付ける・取り外す

取り付け

1. バッテリー収納部カバーロック⑥を外して、バッテリー収納部カバー⑦を開けます。
2. バックアップ用電池収納部カバーロック②を引き上げて、バックアップ用電池収納部カバー③を取り外します。
3. 電池収納部内の表示に従い、電池の向きに注意して電池を取り付けます。
 - ☞ アルカリ乾電池(単3 1.5V LR6)を使用してください。
 - ☞ 電池を交換するときは、電池を2本セットで交換してください。この際、メーカーおよび容量の異なる電池を使用しないでください。
 - ☞ 付属されている電池は作動テスト用です。
4. バックアップ用電池収納部カバー③のツメを本体の凹部に差し込み、バックアップ用電池収納部カバー③を上から押し込んで取り付けます。

5. バッテリー収納部カバー⑳を閉じ、バッテリー収納部カバーロック㉑でロックします。

- ☞ 長時間にわたって本機をご使用にならない場合は、本体から電池を取り外してください。長時間にわたって放置すると、電池の腐食および自然放電につながります。
- ☞ 時刻を記憶できず表示が消える場合は、バックアップ用の電池を交換してください。

取り外し

1. バッテリー収納部カバーロック㉑を外して、バッテリー収納部カバー㉒を開けます。
2. バックアップ用電池収納部カバーロック㉓を引き上げて、バックアップ用電池収納部カバー㉔を取り外します。
3. 電池を取り外します。
4. バックアップ用電池収納部カバー㉔のツメを本体の凹部に差し込み、バックアップ用電池収納部カバー㉔を上から押し込んで取り付けます。
5. バッテリー収納部カバー㉒を閉じ、バッテリー収納部カバーロック㉑でロックします。

使
い
方

使用する



警告

- ◆ 雨中や水のかかるところで使用しないでください。
ラジオ本体に水が入ると、感電する恐れがあります。




注意

- ◆ 過度なほこりのあるところで使用しないでください。
故障の原因になります。
- ◆ 油煙や高温の蒸気が当たるところで使用しないでください。
火災や故障の原因になります。
- ◆ 使用するとき、持ち運ぶとき、保管するときは、可能な限りバッテリー収納部カバー⑦と端子接続部カバー⑥を閉じてください。
閉じられていると、水やほこりから保護できます。

使
い
方

● 電源の“入”“切”

入: [電源ボタン⑬]を押します。
ディスプレイ⑫が点灯し、前回スイッチを切ったときに選択していたオーディオソースが流れます。

 ディ스플레이⑫のバックライトは、いずれかのボタンを押すたびに数秒間点灯します。

切: 再度、[電源ボタン⑬]を押します。
現在選択されているオーディオソースが記憶されます。

● 音量を調節する

電源を入れると、必ずVL8の音量で音が出ます。

音量はVL0～30の間で調節できます。

「**CLOCK** 音量/時計ボタン⑳」を回すと、現在の音量が数秒間ディスプレイ㉔の周波数表示(a)に表示されます。


音量を大きくする: 「**CLOCK** 音量/時計ボタン⑳」を時計方向に回します。

音量を小さくする: 「**CLOCK** 音量/時計ボタン⑳」を反時計方向に回します。

- ☞ ラジオの周波数を変更する前には、音量を下げてください。
周波数を変更したとき、突然大きな音が出ると、聴力障害の原因になることがあります。
- ☞ 外部モバイル端末・機器(例:スマートフォンなど)を再生する前には、音量を中間にしてください。
- ☞ 音量はいつでも調節できます。
メニュー設定中に音量を変更すると、ディスプレイ㉔の周波数表示(a)に音量が数秒間表示された後、メニュー画面に戻ります。

使
い
方

音を消す

「**MUTE** 消音/メニューボタン㉑」を押すと音が消え、ディスプレイ㉔の消音表示(f)に“”が表示されます。

再び音を出すときは、再度「**MUTE** 消音/メニューボタン㉑」を押すか、「**CLOCK** 音量/時計ボタン⑳」を回します。消音を解除すると、消音表示(f)が消えます。

● 音響を設定する

最適化された音響再生のために、ラジオにはイコライザーが内蔵されています。

高音と低音の設定を手動で変更したり、様々な音楽スタイルに合わせて音響プリセットを使用できます。事前にプログラムされている設定JAZZ、ROCK、POP、CLASSICおよび自身でプログラミング可能なCUSTOMから選択できます。

音響設定はオーディオソースごとに、別個に保存されます。

保存されている音響プリセットのいずれかを選択するには、イコライザー(音響プリセット)表示(i)に希望する設定が表示されるまで、**[EQUALIZER イコライザーボタン⑩]**を繰り返し押します。

[EQUALIZER イコライザーボタン⑩]を押すたびに、イコライザー(音響プリセット)表示(i)が下記のように切り替わります。

JAZZ→ROCK→POP→CLASSIC→CUSTOM→...

CUSTOM:設定の変更

高音レベルと低音レベルを-5~+5の範囲で設定できます。

1. **[EQUALIZER イコライザーボタン⑩]**を0.5秒以上押します。
イコライザー(音響プリセット)表示(i)に“CUSTOM”が表示されます。
2. ディスプレイ⑫の高音/低音表示(d)に“TRE”が表示され、現在設定されている高音レベルのが点滅表示されます。
3. **[CLOCK 音量/時計ボタン⑳]**を回して、高音レベルを変更します。
-5~+5の範囲で設定できます。
4. **[CLOCK 音量/時計ボタン⑳]**を押して、設定した値を保存します。
保存されると、ディスプレイ⑫の高音/低音表示(d)に“BAS”が表示され、現在設定されている低音レベルのが点滅表示されます。
5. **[CLOCK 音量/時計ボタン⑳]**を回して、低音レベルを変更します。
-5~+5の範囲で設定できます。
6. **[CLOCK 音量/時計ボタン⑳]**を押して、設定した値を保存します。
保存されるとディスプレイ⑫は標準の表示に戻ります。
☞ **[CLOCK 音量/時計ボタン⑳]**を最後に操作してから10秒経つと、ディスプレイ⑫は標準の表示に戻ります。

● オーディオソースを選択する

希望するオーディオソースが選択されるまで、「SOURCE ソースボタン⑭」を繰り返し押します。

“FM”→“AM”→“AUX”→“* ”→“FM”…

現在選択されているオーディオソースが、ディスプレイ⑫のオーディオソース表示(h)、Bluetooth®接続表示(g)に表示されます。

FM : FMラジオ

AM : AMラジオ

AUX : 外部モバイル端末・機器 (例:スマートフォンやCDプレーヤー) と接続してラジオのスピーカーで聞く

* : Bluetooth®に対応した外部モバイル端末 (例:スマートフォン) を本機に接続してモバイル端末の音楽などを聞く

● ラジオを聞く

手動で周波数を設定する

1. 「SOURCE ソースボタン⑭」を押して、“FM”または“AM”に切り替えます。選択されているオーディオソースが、ディスプレイ⑫のオーディオソース表示(h)に表示されます。
2. 希望する周波数がディスプレイ⑫の時刻表示(j)に表示されるまで、「SOURCE ソースボタン⑭」を回します。周波数は、設定時に数秒間、時刻表示(j)に表示され、その後周波数表示(a)に表示されます。

電波の強いラジオ局を受信する

1. 「SOURCE ソースボタン⑭」を押して、“FM”または“AM”に切り替えます。選択されているオーディオソースが、ディスプレイ⑫のオーディオソース表示(h)に表示されます。
2. 「▶▶ 早送りボタン⑮」または、「◀◀ 早戻しボタン⑯」を押すと、現在受信している周波数に近い周波数を自動で受信します。「▶▶ 早送りボタン⑮」を押すと周波数が上がり、「◀◀ 早戻しボタン⑯」を押すと周波数が下がります。受信した周波数がディスプレイ⑫の時刻表示(j)に表示され、放送が流れます。周波数は、設定時に数秒間、時刻表示(j)に表示され、その後周波数表示(a)に表示されます。受信した信号が十分に強い場合、自動的にステレオ受信に切り替わり、ディスプレイ⑫のステレオ表示(e)が表示されます。

電波の強い周波数を全て受信する

1. [SOURCE ソースボタン⑭]を押して、“FM”または“AM”に切り替えます。
選択されているオーディオソースが、ディスプレイ⑫のオーディオソース表示(h)に表示されます。
2. [▶▶早送りボタン⑮]または[◀◀早戻しボタン⑯]を長押しします。
受信した周波数がディスプレイ⑫の時刻表示(j)に点滅表示され5秒間放送が流れ、その後、受信できる周波数を検索し続けます。
周波数の検索を中断するときは、[▶▶早送りボタン⑮]または[◀◀早戻しボタン⑯]を押します。

手動で周波数を登録する

周波数は、各オーディオソースごとに4局登録できます。
 (“FM”4局、“AM”4局)

1. [SOURCE ソースボタン⑭]を押して、“FM”または“AM”に切り替えます。
選択されているオーディオソースが、ディスプレイ⑫のオーディオソース表示(h)に表示されます。
2. 登録したい周波数に合わせます。
3. [プリセット登録ボタン⑰]の任意の番号(1~4)を長押しします。
ディスプレイ⑫の登録番号表示(c)に、選択した登録番号が表示されるまで長押ししてください。
押した番号に、周波数が登録されます。

☞すでに登録されている登録番号を選択した場合、新しい周波数が上書きされますので注意してください。

自動で周波数を登録する

1. [SOURCE ソースボタン⑭]を押して、“FM”または“AM”に切り替えます。
選択されているオーディオソースが、ディスプレイ⑫のオーディオソース表示(h)に表示されます。
2. [▶▶早送りボタン⑮]と[◀◀早戻しボタン⑯]を同時に押します。最も受信状態の良い4局が自動で[プリセット登録ボタン⑰]の1から4に登録されます。
登録されると、ディスプレイ⑫の登録番号表示(c)に“1”が表示され、“1”に登録された周波数が周波数表示(a)に表示されて放送が流れます。

☞すでに周波数が登録されている場合、新しい周波数が上書きされますので注意してください。


登録した番号で選局する

周波数を登録した番号を選択して放送を聞くことができます。

1. 「SOURCE ソースボタン⑭」を押して、“FM”または“AM”に切り替えます。
選択されているオーディオソースが、ディスプレイ⑫のオーディオソース表示(h)に表示されます。
2. 「プリセット登録ボタン⑮」の任意のボタン(1～4)を押します。
ディスプレイ⑫の登録番号表示(c)に選んだ番号、周波数表示(a)に周波数が表示され、放送が流れます。

ロッドアンテナを調節する

ロッドアンテナ⑭を最も受信状態が良くなる方向に向けてください。

 無線通信機器、無線送受信機、またはその他の電子機器のすぐ近くで無線機を操作すると、無線受信が干渉を受ける可能性があります。

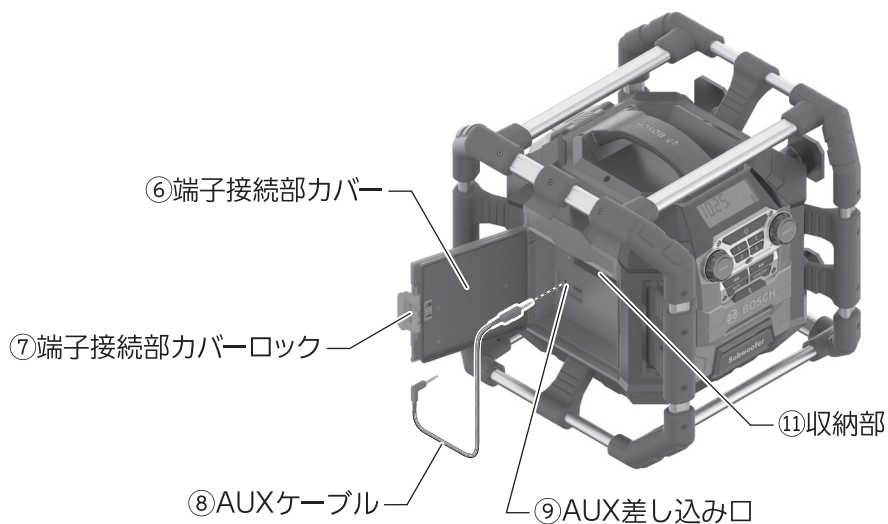
使
い
方

● 外部モバイル端末・機器と接続する(AUX接続)

外部モバイル端末・機器(例:スマートフォンやCDプレーヤー)を接続して、ラジオのスピーカーで聞くことができます。

1. 端子接続部カバーロック⑦を外して、端子接続部カバー⑥を開きます。
2. 標準付属品のAUXケーブル⑧または市販品のAUXケーブル(3.5mmプラグ)の片方をAUX差し込み口⑨に差し込みます。
3. AUXケーブル⑧のもう片方を外部モバイル端末・機器に差し込みます。
4. ディスプレイ⑫のオーディオソース表示(h)に“AUX”が表示されるまで、「SOURCE ソースボタン⑭」を繰り返し押します。
5. 外部モバイル端末・機器で音楽などを再生します。
ラジオのスピーカーから音楽などが流れます。

- ☞ 接続する外部モバイル端末・機器の取扱説明もお読みください。
- ☞ AUXケーブル⑧を取り外したら、端子接続部カバー⑥を閉めてゴミが入らないようにしてください。
- ☞ AUX操作中に「プリセット登録ボタン⑮」を押すと、“AM”でプリセット登録していた番号の放送に切り替わります。
- ☞ AUXを介して接続されている外部モバイル端末・機器を収納部⑪に収納することもできます。



Bluetooth®に対応したモバイル端末と接続する

Bluetooth®に対応した外部モバイル端末(例:スマートフォン)を接続して、モバイル端末の音楽・音声を聞くことができます。

☞ 電源にバッテリーを使用しているときは、Bluetooth®は使用できません。



警告

◆ 航空機内・病院内など、無線通信に制限がある場所では、それぞれの指示に従ってください。他の機器との干渉が起こることがあります。

☞ Bluetooth®が接続されないまま17分が経過すると、ラジオの電源が自動的に切れます。

1. [Bluetooth®ボタン⑰]を押すか、ディスプレイ⑫のBluetooth®接続表示(g)に“✳”が表示されるまで[SOURCE ソースボタン⑭]を繰り返し押しします。

Bluetooth®接続表示(g)の“✳”が点滅します。

Bluetooth®の接続が完了すると、“✳”の点滅が止まります。

☞ Bluetooth®接続中は、「プリセット登録ボタン⑱」の下の青いランプが点灯します。

初めて接続する場合は、下記の手順でモバイル端末の登録(ペアリング)を行ってください。

既に一度モバイル端末の登録(ペアリング)をしている場合は、自動的に接続されます。

☞ 一度モバイル端末の登録(ペアリング)をしているのに接続されないときは、再度登録(ペアリング)を行ってください。

登録(ペアリング)できないときは、一度[GPB18V-5Cxxxx]の登録を削除して、再度登録(ペアリング)を行ってください。

ペアリングする

☞ 接続する外部モバイル端末の取扱説明書もお読みください。

- 1) Bluetooth®に対応したモバイル端末をペアリングできる状態に設定する。(多くのモバイル端末では、Bluetooth®メニューで設定することができます。)
- 2) ディスプレイ⑫のBluetooth®接続表示(g)がはやく点滅するまで[Bluetooth®ボタン⑰]を長押しします。
- 3) モバイル端末の接続画面で[GPB18V-5Cxxxx]を選択する。サーチ中、Bluetooth®接続表示(g)の“✳”が点滅します。
 - ☞ 本機のPINコード入力を要求されたときは、“1234”と入力してください。
 - ☞ 接続しにくい場合は、再度[Bluetooth®ボタン⑰]を押してください。
- 4) Bluetooth®の接続が完了すると、“✳”の点滅が止まります。


2. 外部モバイル端末で音楽・音声を再生します。
再生した音楽・音声が、ラジオのスピーカーから流れます。

モバイル端末の操作を本製品で行うことができます。

再生する

「▶▶早送りボタン⑮」または「◀◀早戻しボタン⑲」を押して、聞きたい楽曲を選択すると再生を開始します。

一時停止する

「MUTE 消音/メニューボタン⑩」を押します。
再生が一時停止し、ディスプレイ⑫の消音表示(f)に“”が表示されます。
再生を開始するときは、再度「MUTE 消音/メニューボタン⑩」を押すか、「CLOCK 音量/時計ボタン⑳」を回して音量を変えます。

1つの楽曲内で早送り/早戻しする


早送りするときは「▶▶早送りボタン⑮」を押します。押し続けている間、早送りします。聞きたいところで、指を離します。
早戻しするときは「◀◀早戻しボタン⑲」を押します。押し続けている間、早戻しします。聞きたいところで、指を離します。

曲の先頭に戻る

「◀◀早戻しボタン⑲」を押します。

前の曲に戻る/次の曲に進む

前の曲に戻るときは、「◀◀早戻しボタン⑲」を2回続けて押します。
次の曲に進むときは、「▶▶早送りボタン⑮」を押します。

-  **Bluetooth®**接続中に、「プリセット登録ボタン㉑」のいずれか(1~4)を押すと、前回選択していたオーディオソースに対応した放送に切り替わります。

● 時刻を設定する

時刻の表示は、12時間制(12H)または24時間制(24H)で選択できます。

1. [CLOCK 音量/時計ボタン②]を押します。
ディスプレイ⑫の時刻表示(j)に“12H”または“24H”が表示されます。
2. [CLOCK 音量/時計ボタン②]を回して、“12H”または“24H”を選択します。
3. [CLOCK 音量/時計ボタン②]を押します。
時刻の入力画面が表示され、“時”が点滅します。
4. [CLOCK 音量/時計ボタン②]を回して“時”を設定します。
5. [CLOCK 音量/時計ボタン②]を押します。
“分”が点滅します。
6. [CLOCK 音量/時計ボタン②]を回して“分”を設定します。
7. [CLOCK 音量/時計ボタン②]を押します。
設定が完了し、ディスプレイ⑫は標準の表示に戻ります。

使
い
方

● すべての設定をリセットする

すべての設定を、工場出荷時の設定にリセットする(戻す)ことができます。

1. ディスプレイ⑫に“RS(R5)”が表示されるまで、[CLOCK 音量/時計ボタン②]を長押しします。
2. “RS(R5)”が表示されたら、再度[CLOCK 音量/時計ボタン②]を長押しします。
“NO”が点滅します。
3. [CLOCK 音量/時計ボタン②]を回して、<YES>または<NO>を選択します。
<YES>を選択すると、工場出荷時の設定にリセットされます。
<NO>を選択すると、現在の設定に戻ります。
4. [CLOCK 音量/時計ボタン②]を押して、確定します。

● 外部機器の電源供給

USBポートを使用し、USBから電源供給可能な機器（スマートフォンなど）を充電することができます。

最大充電電流:2.1A

1. 端子接続部カバーロック⑦を外して、端子接続部カバー⑥を開きます。
2. 適合するUSBケーブルで外部機器のUSBポートとラジオのUSB差し込み口⑩を接続します。
3. 充電が終了したらUSBケーブルを取り外し、端子接続部カバー⑥を閉じます。USBケーブルのプラグを取り外したときは、汚れから守るために端子接続部カバー⑥を必ず閉じてください。

- ☞ 電源にバッテリーを使用している場合、外部機器はラジオの電源が“入”になっている間のみ充電することができます。
- ☞ USBポートを使用して電源供給している外部機器を、収納部⑪に収納することができます。
電源供給時に外部機器が高温になった場合は、端子接続部カバー⑥を開けて、外部機器を過熱から保護してください。

● 電源コンセントを使用する

電源コンセント⑤を使用して、外部の電気機器を作動させることができます。
(最大10A、最大1000W)

電源コンセントカバー④を開いて、電源コンセント⑤に電気機器の電源プラグを差し込みます。

- ☞ 電源に主電源を使用しているときのみ、電源コンセント⑤は使用できます。
バッテリーを使用しているときは、電源コンセント⑤は使用できません。
電源に主電源を使用しているときは、電源接続表示灯③が点灯（緑）します。
- ☞ 接続している電気機器の消費電力の合計が10Aを超えないようにしてください。

バッテリーを長持ちさせるために

- ◆ 長時間(6か月以上)使用しない場合は、満充電にしてから保管してください。
- ◆ 満充電にしたバッテリーを、再度充電しないでください。
- ◆ 機械の力が弱くなってきたと感じた場合は使用を中止し、充電してください。

リサイクルのために

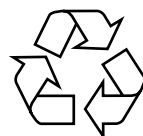
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ポッシュは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス電動機械用バッテリーのリサイクルを推進しております。

恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ポッシュ電動工具取扱店、ポッシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



Li-ion

つ
バ
ッ
テ
リ
ー
に
て

本製品は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

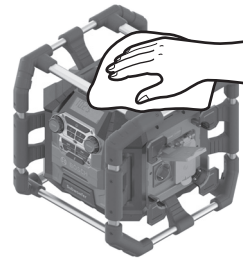
ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、コードレス電動機械本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出してください。

お手入れと保管

クリーニング

● 乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

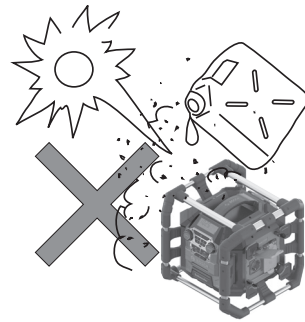
☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わない
てください。



保 管

● 使った後は、バッテリーを取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、50℃以上になるところに置かない。
- バッテリーは、-20℃～+50℃の範囲で保管する。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼る。



保
お
手
入
れ
と
管

電動機械(本体)の廃棄について

バッテリー以外のラジオ本体および付属品の廃棄については、各地域自治体にその方法を確認し、正しく廃棄してください。

困ったときは

故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直してください。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

症 状	原 因	対 処
作動しない	電源プラグが電源コンセントから抜けている	電源プラグを電源コンセントに確実に差し込む
	内部パーツ不良	修理を依頼する
	電源ケーブルの断線	修理を依頼する
	バッテリー⑳が消耗している	バッテリー⑳を充電するか交換する
充電してもフル充電しない。または、フル充電しても作業時間が短い	バッテリー⑳が購入直後か、長時間使用していない	バッテリー⑳を充電する
	バッテリー⑳の寿命が尽きた	バッテリー⑳を交換する

困ったときは

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合(消耗部品を除きます)が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL.03-5485-6161をご利用ください。
コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813 埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4
TEL 0493-56-5030 FAX 0493-56-5032

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野741-1
TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

困ったときは

**プロ用電動工具・メジャーリングツール
保証サービス『PRO360』のご案内**

2022年10月より、弊社ホームページからユーザー登録をしていただいたお客様を対象に、購入日より2年間の保証サービスを実施させていただきます。
保証サービスの詳細および登録に関しては、弊社ホームページまたは下記URL
でご確認ください。

<https://www.bosch-professional.jp/jp/ja/service/>